

## 療養病床の廃止・削減の中止等を求める要望意見書

政府は6月14日、国会で「医療制度改革関連法」を成立させ、全国にある38万床の療養病床を15万床へと大幅に削減する療養病床の再編計画を決めました。その結果、北海道では、全国で1番多い介護保険適用の療養病床（約9千床）が廃止され、医療保険適用の療養病床（約2万床）も大幅に削減されます。

現在、全国では医療保険及び介護保険の療養病床は満床の上、特別養護老人ホームの待機者は34万人もいます。

このような状況下、入院医療と介護施設の実態を無視し、受け皿の整備もないままに強行しようとしている療養病床の削減・廃止は、医療や介護を必要とする患者から治療する機会を奪い、医療・介護難民を生み出すことは明らかです。

よって、政府においては、過疎・広域・寒冷という北海道特有の地域事情を踏まえ、次の事項について実現を図るよう強く要望します。

### 記

- 1 療養病床の削減計画の中止を求める。
- 2 地域住民が安心して暮らせるように、介護保険事業計画を見直し、医療、介護、福祉制度や施設等の基盤を充実させること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成18年 9 月27日

大空町議会議長 後 藤 幸太郎